

追风赶月莫停留，平芜尽处是春山
---大学院受験経験談

大学院進学 A クラス：熊賽

こんにちは。私の名前は熊賽です。2023 年 6 月に華南師範大学日本語専攻を卒業しました。7 月に来日し、亜細亜友之会外語学院で留学生生活をスタートしました。亜細亜友之会外語学院の先生方の励ましと助けがあって、2024 年 2 月の冬に大阪大学大学院人間科学研究科と東北大学大学院教育学研究科に合格しました。ここで私の受験体験を皆さんと共有できることを光栄に思います。少しでも参考になれば幸いです。

1. 受験スケジュール

2022 年 8 月	日本留学を決める
2022 年 11 月	TOEFL スコアを取得する
2022 年 12 月	日本語学校選びと専攻専門ではない社会学受験を決める
2023 年 1-5 月	中国で卒業論文を書きながら、入試準備
2023 年 7 月	来日、本格的に入試準備を開始。研究計画書を書き始める。
2023 年 9 月	急いで一橋大学大学院社会学研究科に出願 不合格
2023 年 9-11 月	大澤先生にアドバイスをいただき、反省をして方向性を修正。専門書を読み始める、研究計画書を書き直し、大澤先生のご指導のもと無事出願
2024 年 12-2 月	最終段階に入る。専門書籍を読む、過去問を解く。宮原先生、岩崎先生と面接練習。
2024 年 3 月	大阪大学 合格 東北大学 合格

一、受験提案

(1) 言語のスコア

人文社会科学系の大学院では、語学力に一定の要件が設けられている場合もありますが、日本語や英語の成績の提出を求めている学校もあります。しかし実際には試験問題や面接での評価に隠されています。したがって、受験を決めた場合、最初に基本書類の言語のスコアの準備をしっかりとすべきです。日本語の学習については詳しくは話しませんが、能力試験は問題をたくさん解いて間違った問題をやりなおし、身につける必要があります。聴解が苦手な学生は、自分で言語環境を作り、より多くのニュースを聞いたり、ドラマを見たりしたほうがいいです。これは受験に役立つだけでなく、日本の生活に早く溶け込むのにも役立ちます。英語に関しては、ちょっと「苦手」な学生は TOEIC を考えたほうがいいです。主に選択式で、難易度にも一定の勾配があり、短期間で高得点を得ることができます。

(2) 研究計画書

まず、自分が好きなこと、または少なくとも興味のあることを選択します。研究計画書は問題を調査

するようなものです。基本的な関心さえ持っていない場合、受験を含め実際の大学院で勉強を始めた時、論文をみるだけで嫌悪感を感じると思います。おそらく最初はみんな私と同じ問題を抱えているでしょう。たくさんの文献を読んだが、方向性が見つかりません。こんな悩みを抱えている人は、次のような視点からチェックしてみてください。①文献を読むとき、「読む」だけで終わっていませんか？忘れやすいのでノートをとります。読んだ後、その論文の問題意識、文脈、結論、不足点などを要約することは非常に重要です。

②膨大な量の文献がありますが、文献の管理や分類は行っていますか？例えば、関連度に応じて、重要（自分の研究との関連性が高い）、二次重要（自分の研究テーマと重複する）、補足（自分の研究との関連性は高くないが、自分の研究の大きな方向性に属する近年の関心事項、または概念の説明文書）

③インスピレーションは一時的なものです。すぐに記録して広めていますか？携帯電話のメモを使ってもいいし、専用のドラフトブックを用意して自由に連想して考えるのもいいです。

受験中、研究計画書が一番のネックだと感じていました。何も書けなかったり、アイデアがなかったりして、何度も挫折して迷い常に自分を疑っていました。その後、困難に対して自分自身が恐れていることが原因だと気づきました。

研究提案書を書く際に最も難しいステップは、最初の単語を入力する前です。アイデアを頭の中に残さないでください。書きながら文献を確認したりする時、それまで漠然としていたアイデアがだんだん明確になってきます。はじめは難しいですが、最初の一步を踏み出せば、戦いの半分は勝ったものと同じです。

(3) 専門知識

専攻や学校によって試験内容が異なるため、一概には言えません。教育社会学を専攻する学生であれば、『よくわかる教育社会学』をおすすめします。この本は理解しやすいだけでなく、学校教育、教育格差、移民教育などテーマによって分けられています。自分の研究テーマを見つけるための入門書として最適です。次、最初は大沢先生からの提案でした。全員が自分の専門用語の辞書を持っているのが最善であるということです。教育学であれば「教育学キーワード」や「異文化間教育事典」で個人的には筆記試験の用語説明に非常に役立つと思います。

専門知識に関しては事前に試験範囲を理解し、先輩や教授に関連する書籍を勧めてもらい、繰り返し読んで随時メモや要約を作成する必要があります。これらの知識はすべて試験中の資料となります。最後の段階では、過去問をたくさんやって、小論文を書いてください。考えていることと書いたものは異なり、書くことによって自分の欠点を発見できます。

(4) 面接

初期段階は面接原稿の作成です。聞かれそうな質問を大まかに準備します。答えはあまり長くする必要はありません。重要なのは頭の中の考えを整理し、暗記するための重要なポイントにまとめることです。面接では予想外の質問が多いので、自己紹介、研究計画のレジュメ、志望動機などの基本的な内容は覚えておいて、それ以外の質問については要点をまとめてその場での臨機応変に対応すればいいです。また、私のように緊張しやすい学生は、面接の流れや雰囲気に対応するためにも、面接練習をするたびに新たな問題点も発見できるので、宮原先生と岩崎先生と面接練習をしたほうがいいです。

最初は自信満々で、連続して失敗に見舞われ、反省、調整をして、再出発します。最後に雨が上がり晴れてきて、希望の大学に合格することができました。合格までは多くの困難がありますが、受験生なら誰しもそう感じるのだと思います。失敗により、混乱に陥り不安になって、夜は寝返りを打つことも多かったです。その過程において、自己調整は私たち一人ひとりが乗り越えなければならない課題です。受験の鍵は、前向きで良い精神状態＋落ち着いて安定した学習状態（そしてもちろん多少の運）

だと思います。私が伝えたい最後のアドバイスは、一時的な失敗に落ち込まず、失敗したら反省してまとめ、立ち上がって走り続けることです。誰もが無限の可能性を持っています。結果について過度に心配する必要はありません。それはエネルギーを失うだけです。したがって、一時的な失敗に気を取られず、毎日やらなければならないことに集中してください。長距離走には途中で水分補給と休憩が必要であるのと同じように、受験も長距離走と同じです。疲れや体調の不調を感じたときは、立ち止まって深呼吸してください。音楽を聴いたり、ボールで遊んだり、友人を誘って周りを散歩したり、自分の好きな方法で自分を休ませることです。

最後に、この機会を利用して、亜細亜友之会外語学院のすべての先生方に感謝の意を表したいと思います。愛想の良い校長先生と石川先生、生徒の面倒をよく見てくれる優しく忍耐強い申先生と臧先生、そして生徒たちのためによく夜遅くまで残業してくれるユーモアあふれる大沢先生、知識が豊富で新しい視点から世界を見ることができる久保先生、優しくて素敵な宮原先生、温かくて優しい岩崎先生、そして、大学院 A クラスの皆さん、私にたくさんの助けをくれてありがとうございます。皆さんからたくさんのことを学びました。亜細亜友之会外語学院での滞在期間はそれほど長くはありませんが、まるで家にいるかのような温かさと快適を感じました。外国での生活や長かった受験の道のりも少しは楽になりました。亜細亜友之会外語学院ありがとう。皆さんと出会えたことは私の最大の幸運です。

在校生の皆さんが希望の大学に合格できることを願っています！また、亜細亜友之会外語学院の教師全員の順風満帆を願っています！

